

2012年(平成24年)11月2日(金曜日)

中 新 聞

搾りたて新酒完成告げる

古川 造り酒屋が杉玉 掛け替え



飛騨市古川町壺之町の老舗造り酒屋「渡辺酒造店」で一日、杉玉の掛け替え作業があり、搾りたての新酒の完成を告げた。

造り酒屋では古来、杉玉を店の軒先に掲げる風習がある。高山市の農家に制作を依頼し

た杉玉は直径八十センチ、重さ七十キロ。蔵人たちがはしごに登り、枯れて茶色になった古い杉玉を下ろした後、青々とした新しい杉玉を担ぎ上げて飾り付けた。

今年は例年より十日ほど早い十月上旬から仕込みに入った。専務

新しい青々とした杉玉を飾り付ける蔵人ら「飛騨市古川町で

の渡辺久憲さん(四十七)は「夏が暑かったので米の出来にやきもきしたが、質は上々。新酒は

フルーティーでこくもあり、軽やかに仕上がった」と話した。一日から新酒三万本(一升瓶)の出荷を開始。今季は四十五万本を作る。

(島将之)